

平成 27 年度 事業 報告

1 事業の重点

平成 27 年は、第 9 次大分県交通安全計画の最終年にあたり、交通事故のない安全で安心して暮らせる県民生活実現のため、同計画に沿って県民一人ひとりに交通安全知識・技能を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、

- 年間死者数 45 人以下
- 交通事故死傷者数 6,500 人以下

を達成するための交通安全活動を推進した。

平成 27 年度も年間交通安全スローガンを「おこさず あわず 事故ゼロ」に掲げ、社会情勢や活動の継続性を勘案し、

- 高齢者と子どもの交通事故防止
- 交通安全のすそを広げる県民運動の推進

を活動の最重点に挙げ、「自分の命・ひとの命を交通事故から守るため、県民の一人ひとりが交通社会の一員としての自覚と責任を持ち、交通事故のない、安全で安心して住める豊の国づくりの実現」を目指したものである。

2 活動重点に対する取り組み状況

(1) 高齢者の交通事故防止

ア 高齢歩行者セーフティサポート活動

各支部の女性ドライバー協議会員等が、交通事故多発地区の高齢者宅を訪問、反射材 1 万個を啓発用チラシと共に配布し、サポート活動を実施（9 月～11 月までの 3 ヶ月間）

イ 高齢者交通安全教室の実施

各支部において、高齢歩行者を対象とした体験・参加型の交通安全教室を 65 回 2,599 人対象に実施

ウ 高齢者交通安全自転車大会の開催

「第 5 回高齢者交通安全自転車大会」を豊後高田市豊の里自動車学校において開催【10 月 18 日（日） 30 人参加】

エ シニアドライバースクールの開催【5月24日(日) 11人参加】

JAFと連携し、大分県自動車学校において、高齢者を対象とした体験講習会を共催

オ 大分県シニアドライバーコンテスト

「第1回大分県シニアドライバーコンテスト」を大分市大分県自動車学校において開催【11月29日(日) 17チーム34人参加】

カ 高齢運転者標識の表示促進

県自動車学校において高齢者講習受講者に高齢運転者標識を配付する等、高齢運転者の交通事故防止のため、標識の表示を促進

キ 運転免許証自主返納支援

高齢運転者が運転免許証を自主的に返納しやすい環境づくりを目的に「自主返納支援制度のサポート加盟店」を募集し日出支部管内で18店舗、佐伯支部管内で120店舗が加盟

ク 高齢者交通安全キャンペーンの実施

高齢者を交通安全活動に参加させて自らの交通安全意識の高揚を図る目的で11月1日から11月30日までの1ヶ月間、「高齢者交通安全キャンペーン」を実施

ケ 交通安全グランドゴルフ大会等の開催、協賛

交通安全意識の高揚を図るため、各支部において交通安全グランドゴルフ大会、ゲートボール大会を開催又は協賛

○ グランドゴルフ大会

大分中央支部(12/19)、大分東支部(11/25)、別府支部(7/12)、日出支部(9/25)、豊後大野支部(5/17、7/31)、佐伯支部(9/25)

コ 各種媒体による広報活動

○ 春・夏・秋・冬の安全運動期間中に県内各支部管内の街頭放送やケーブルTVで、「高齢者の交通事故防止」等を広報

○ テレビ～年間を通じ、スポット広報(OBSTV 35本、TOSTV 23本)～「高齢者の交通事故を防ぎましょう」を放映

○ 県協会広報紙「交通安全おおいた」～春、夏、秋、冬の交通安全運動前に各2万部発行し、運動の重点を広報し、各支部においても独自に広報紙を作成し配布

○ 横断幕、のぼり旗、プラカード等～春、夏、秋、冬の交通安全運動期間中や各支部の街頭活動時に活用・掲出

○ チラシ～春、夏、秋、年末・年始の運動用に各4万枚を作成・配布～「高齢者の交通事故を防ぎましょう」

※ 高齢者の交通事故発生状況

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成27年	1,720	32	1,102
平成26年	1,700	33	1,122
増 減	+ 20	- 1	- 20

(2) 子どもの交通事故防止

ア 幼児に対する交通安全教育

幼稚園・保育園に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室を 614 回 32,943 人に実施

イ 児童等に対する交通安全教育

小・中学校や地区公民館に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室を 467 回、31,831 人に実施

(小学生 444 回 28,778 人、中学生 12 回 594 人、高校生 11 回 2,459 人)

ウ 自転車シミュレーターを活用した交通安全教育

学校や地域の行事・交通安全運動期間中の行事等に交通指導員を派遣し、自転車シミュレーターを活用した体験型の交通安全教室を 34 回、

1,610 人に実施 (自転車シミュレーターは平成 22 年に各支部に 1 セット配分)

エ 交通安全子ども自転車大分県大会の開催

○ 6 月 20 日(土)、大分市大分東部公民館において「第 48 回大分県大会」を開催(13 チーム 52 人参加)、佐伯市立明治小学校が初優勝

○ 8 月 5 日(水)、東京ビックサイトにおいて開催された「第 50 回全国大会」に県大会で優勝した明治小学校を派遣(団体 41 位)

オ 学童軟式野球大会大分支部・大分県大会の後援

○ 5 月 24 日(日)、第 35 回学童軟式野球大分支部大会の閉会式(だいぎんスタジアム)において、優勝チームに会長杯・メダルを、準優勝チームにメダルをそれぞれ授与、参加チーム全員に参加賞(横見えライト)を配布し、児童・保護者に対する啓発活動を実施

○ 6 月 14 日(土)、同大分県大会の閉会式(だいぎんスタジアム)において、優勝・準優勝チームにそれぞれ会長杯を授与、参加チーム全員に参加賞(クリアボトル)を配布し、児童・保護者に対する啓発活動を実施

カ 幼児・児童向けの広報チラシ等の発行

幼児・児童向けの広報紙を各支部において毎月、又は随時発行

キ 交通安全啓発グッズの配布

新入学児童に対して交通安全グッズ(『交通安全クリアファイル』と『かいておぼえるあいうえおひょう』)11,000セット、及び各支部で選定した物品を配布

ク 交通安全レター作戦の実施、交通安全新聞の発行

- 日田支部内小学4～6年生1,806名が、交通安全に関するハガキを身近な人に送り、交通安全意識の高揚を図る「交通安全レター作戦」を実施【7月】
- 大分東支部小学生4～6年生1,000名が祖父母に対し、交通事故防止を呼びかけるハガキを作成し投函【7月】

ケ 交通安全高校生サミットの実施

宇佐支部は、市内4校の高校生による交通安全連絡会を開催し、各校の交通安全に対する取り組み状況を意見交換した後、国道10号の法鏡寺交差点で横断幕・のぼりを活用して街頭啓発活動を実施【12月】

コ 交通安全ポスターコンクールの後援

J A主催「交通安全ポスターコンクールの審査会」を後援【10月2日】

サ 各種媒体による広報活動

- テレビ広報～年間を通じ、(OBSTV 35本、TOSTV 23本)～「子どもの交通事故を防ぎましょう」をスポット放映
- テレビ広報～四季の交通安全運動中、30～60秒スポット(春3本、夏3本、秋3本、冬3本)～「子どもの交通事故を防ぎましょう」
- 県協会広報紙「交通安全おおいた」(年4回発行)を交通安全運動前に各2万部発行して運動の重点を広報、各支部においても独自に広報紙を作成し配布
- 横断幕・のぼり等～春、夏、秋、冬の交通安全運動期間中や各支部の街頭活動時に活用・掲出
- チラシ～四季の交通安全運動用にそれぞれ4万枚作成配布～子どもの交通事故を防止するために家庭や地域・職場で実践すべき事項

※ 子どもの交通事故発生状況

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成27年	329	0	403
平成26年	316	1	384
増 減	+ 13	- 1	+ 19

(3) 交通安全のすそを広げる県民運動の推進

ア 自転車の安全利用の推進

(ア) 自転車安全教育

小・中学校、地区公民館等に交通指導員を派遣し、体験・参加型の自転車教室を314回、20,474人に実施
(幼児1回43人、小学生299回19,819人、中学生7回316人、高校生2回262人、高齢者等5回34人)

(イ) 交通安全自転車大会

- 6月20日(土)大分市大分東部公民館において「第48回交通安全子ども自転車大分県大会」を開催
- 10月18日(日)豊後高田自動車学校において「第5回高齢者交通安全自転車大会」を開催

(ウ) TSマークの普及促進

自転車安全整備制度の周知とともに、TSマークの普及促進を図るため、5月12日(火)、大分県高等学校交通安全教育推進連絡会議において、参加者(高校教員等)に対しTSマークの説明をしたほか、管技協の広報用ティッシュを配布

※ 自転車の交通事故発生状況

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成27年	471	4	462
平成26年	532	6	522
増 減	- 61	- 2	- 60

イ 二輪車の安全利用の推進

(ア) 二輪車安全運転講習会の開催

二輪車普及安全協会と連携し、二輪車を安全に運転するための技能・知識を習得させるための「グッドライダーミーティング」を共催

- 大分県運転免許センター2回【4月19日(日)、9月27日(日)】
- 大分県自動車学校4回【5月10日(日)、6月14日(日)、10月25日(日)、11月15日(日)】

(イ) 二輪車安全運転大分県大会の開催

- 「第45回二輪車安全運転大分県大会」を大分県運転免許センターにおいて開催【5月17日(日)】
- 三重県鈴鹿市で開催された「第48回二輪車安全運転全国大会」に県大会各クラスの優勝者4名を派遣【8月1日～2日】
(個人高校生クラス6位入賞、一般Aクラス6位入賞、総合12位)

(ウ) 県立竹田高校、三重総合高校生66人に対し、原付の安全な乗り方講習を実施

※ 二輪車の交通事故発生状況

	件数	死者数	負傷者数
平成27年	523	8	478
平成26年	591	12	548
増減	-68	-4	-70

ウ 脇見運転の防止

大分県交通安全推進協議会が追突事故防止対策として推奨する「3秒間の車間距離」を新聞、テレビ、広報紙等により広く県民に呼びかける運動を展開

エ 飲酒運転の根絶

毎月20日の飲酒運転根絶県民運動の日をはじめ、11月20日から1月4日までの飲酒運転根絶キャンペーン期間中には、ポスター・卓上「ミ

ニのれん」・飲んだらのれんステッカー・飲んだらのれんコースター等を事業所、飲食店等に頒布し、飲酒運転を許さない社会環境醸成への取り組みを行った。また、11月20日に開催された飲酒運転根絶県民大会に職員が参加し、飲酒運転根絶を呼びかけた

※ 飲酒による交通事故の発生状況

	件数	死者数	負傷者数
平成27年	28	2	37
平成26年	35	1	44
増減	- 7	+ 1	- 7

オ 全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

シートベルト着用を図るため、県民交通安全日や春・夏・秋・冬の交通安全運動中等、主要交差点や街頭において広報啓発活動を実施するとともに、県協会広報紙「交通安全おおいた」及びチラシにより広く県民に呼びかけるための活動を実施

※ 交通死亡事故時のシートベルト着用状況

	全死者	四輪乗車中	シートベルト着用の有無						非着用のうち 推定救命者	
			着用		非着用		不明			構成率
				構成率		構成率		構成率		
平成27年	46	16	10	62.5	6	37.5			4	66.7
平成26年	56	19	12	63.2	6	31.6	1	5.3	5	83.3
増減	- 10	- 3	- 2				- 1		- 1	

カ 若者の交通事故防止

自動車学校卒業生やトラック運送業界に対し、交通安全意識の高揚を図るためのチラシ等を配布するとともに、新聞・テレビ・ホームページ

等を活用し、適宜、時節に応じた広報を実施

キ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

チラシ・広報板・のぼり旗等により、「早めのヘッドライト点灯」を呼びかけるとともに、夜間の外出時には明るい服装を心がけ、反射材の着用を徹底するよう、あらゆる広報媒体を利用して呼びかける運動を展開

(4) その他の活動

ア 交通安全功労者、優良運転者等の表彰

交通安全活動に従事するボランティアや無事故・無違反を続ける運転者に対し、優良運転者（20年・30年・40年・50年）表彰や交通安全功労者（団体）表彰等を実施

(ア) 交通安全県民大会における表彰【9月3日(木)】

	交通安全功労者	功労団体	優良運転者				優良職員等	優良学校 安管等
			20年	30年	40年	50年		
大分県表彰	20人	10団体	87人	273人	123人	41人	2人	1校
九州管区表彰	5人	2団体	35人				4人	1事業所
全国表彰（緑十字銅章）	8人		109人				1人	

(イ) 交通安全国民運動中央大会【1月15(金)】における表彰

交通栄誉章緑十字金章2人（交通安全功労者1人、優良運転者1人）、緑十字銀章6人（交通安全功労者3人、優良運転者3人）
交通安全優良事業所1事業所(佐伯建設株式会社)

イ 特別表彰

交通安全協会設立60周年記念に伴い、協会功労者（団体）等、317（名・団体）を県警本部長、協会長、支部長名で特別表彰を実施

ウ 交通事故相談

交通安全活動推進センターとして、関係機関と緊密な連携を図りながら、示談や損害賠償等の交通事故に伴う相談に対し適切な助言を実施
交通事故相談件数は4件(交通事故捜査関係)

上記のとおり、重点活動に対する各種施策を推進した結果、交通事故の死者数・発生件数・負傷者数とも前年対比で減少した。

※ 県下の交通事故発生状況

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成27年	4,917	46	6,434
平成26年	5,161	56	6,670
増 減	- 244	- 10	- 236

3 期間を定めての活動

(1) 高齢者の交通事故防止

次の期間、集中的・効果的に交通安全活動を推進

運 動 名 等	実 施 期 間	日 数
春の全国交通安全運動	5月11日(月)から 5月20日(水)まで	10日間
おおいた夏の事故ゼロ運動	7月15日(水)から 7月24日(金)まで	10日間
秋の全国交通安全運動	9月21日(月)から 9月30日(水)まで	10日間
おおいた冬の年末事故ゼロ運動	12月15日(火)から 12月24日(木)まで	10日間
マナーアップの日	毎月 1日	
県民交通安全日、飲酒運転根絶県民運動の日	毎月20日	
交通事故ゼロを目指す日	6月25日	

4 行政機関から委託等を受けた事業

(1) 更新時講習、停止処分者・違反者講習

各講習の目的に沿って、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施

(2) 更新通知・高齢者講習通知業務

適正かつ確実な業務を推進

(3) 道路使用等相談

大分中央警察署管内における工事等による道路使用の許可条件の履行及び原状回復の状況等を調査し、交通の安全と円滑に寄与
調査員による道路工事に関する許可条件違反での指導警告事案は54件（うち、始末書徴収は1件）

(4) 運転免許関係事務

県民の利便性に配慮し、適正かつ確実な業務を推進

(5) 収入証紙売り捌き業務

県民の利便性に配慮し、適正かつ確実な業務を推進

(6) コース開放業務

交通事故の防止を図るため、新規免許取得者やペーパードライバー等に対し、毎週土曜日、運転免許センターの四輪コースを開放

5 大分県自動車学校における事業

(1) 優良運転者の育成

車社会に多くの運転者を送り出す指定自動車教習所の社会的責任・役割を果たすため、安全運転の知識・技能について高い教習を実施し、優良運転者を育成するとともに、初心運転者の事故率の低減を図る

○ 教習性入校状況

	四 輪	二 輪	合 計
平成27年度	1,197	198	1,395
平成26年度	1,089	230	1,319
増 減	+ 108	- 32	+ 76

(2) 地域交通安全研修センターとしての積極的な活動

ア 高齢者講習

高齢運転者が増加する中、公益法人設立の指定自動車教習所として、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施

○ 高齢者法定講習

	普通	原付	小特	合計
平成27年度	3,499	226	3	3,728
平成26年度	3,434	244	3	3,681
増 減	+ 65	- 18	± 0	+ 47

- ・運転シミュレーター、講習用DVD、新聞記事、さらには身近な事故事例等、常に新しい教材により充実した講習を実施
- ・実車講習による的確な是正指導と講習時の事故防止を図る

イ 取消処分者講習、初心運転者講習

公安委員会からの指定を受けた講習について、適正かつ効果的な講習を実施

○ 取消処分者講習

	一 般	飲 酒	合 計
平成27年度	25	24	49
平成26年度	69	21	90
増 減	- 44	+ 3	- 41

○ 27年度中における初心運転者講習

	普 通	自動二輪	原 付	合 計
平成27年度	33	1	3	37
平成26年度	33	0	4	37
増 減	± 0	+ 1	- 1	± 0

ウ 企業安全運転講習、ペーパードライバー教習等

職業ドライバーに対する企業安全運転講習からペーパードライバーまで幅広く、目的に沿った効果的な講習を実施

○ 27年度中における免許取得者教育講習

	1号課程	2号課程	4号課程	5号課程	7号課程	8号課程	合計
平成27年度	72	13	0	0	0	547	632
平成26年度	67	17	0	0	0	586	670
増減	+ 5	- 4	0	0	0	- 39	- 38

- ・1号課程～ペーパードライバー講習
- ・2号課程～二輪車安全運転体験講習
- ・4号課程～高齢者安全運転体験講習
- ・5号課程～高速・悪条件下等安全運転体験講習
- ・7号課程～二人乗り走行体験講習
- ・8号課程～企業・職域等安全運転講習

エ 障害者に対する教習

障害者に対する講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施

6 会議

(1) 当協会が主催する会議

ア 理事会

- 6月11日(木) 第12回(平成27年度第1回通常)理事会
- 6月25日(木) 第13回(平成27年度第1回臨時)理事会
- 12月3日(木) 第14回(平成27年度第2回臨時)理事会
- 3月28日(月) 第15回(平成27年度第2回通常)理事会

イ 評議員会

- 6月25日(木) 第7回(平成27年度第1回定時)評議員会
- 3月28日(月) 第8回(平成27年度第1回臨時)評議員会

(2) 全国会議

ア 全日本交通安全協会評議員会

6月24日に東京で開催されたが、今年は都合により欠席

イ 都道府県専務理事等会議

平成28年3月23日に東京で開催され専務理事が出席

(3) 九州会議

ア 九州交通安全協会定例総会

4月22日に福岡県で開催され、専務理事が出席

イ 九州各県専務理事会議

10月8日に宮崎県で開催され、専務理事が出席

ウ 県境ブロック会議

10月30日に本県竹田市で開催され、専務理事及び職員1名が出席

エ 日本交通管理技術協会自転車安全整備制度九州ブロック会議

11月19日に佐賀市で開催され、専務理事及び職員1名が出席

(4) 県会議等

ア 大分県交通安全推進協議会幹事会、執行部会等

幹事会（5/25、7/8、2/10～専務理事出席）、自転車総合対策部会（4/16～専務理事出席）、高齢者事故防止対策部会（9/8～専務理事出席）、委員会（6/29～専務理事出席）、執行部会（7/1、11/18、1/26～企画指導係長・主査出席）

イ その他

(ア) 大分市自転車走行空間ネットワーク整備推進協議会

平成27年度作業部会（6/2、10/7、12/22～企画指導係長・主査出席）、協議会（6/18～専務理事出席）

(イ) 高等学校交通安全教育推進連絡協議会

平成27年度連絡協議会（5/12、2/22～企画指導係長出席）

7 研修

(1) 当協会が主催する研修

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、研修会を実施

ア 交通指導員等研修

3月12日(土) 運転免許センターにおいて、部外講師(ホンダ技研工業指導員)を招聘して交通指導員等職員研修会を実施

イ 女性ドライバー協議会研修会

7月17日(金) ホルトホール大分、2月9日(火) 大分県庁13階会議室において研修会を開催

(2) 研修会への派遣

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、専門機関や関係機関が開催する研修会に派遣

ア 道路使用適正化業務担当責任者研修会(全日交主催【東京】)

5月15日(金) 調査事業課の調査員を派遣

イ 地域交通安全活動推進委員全国研修会(全日交主催【東京】)

6月12日(金) 企画指導係長が出席予定であったが、荒天で航空機欠航のため欠席

ウ 九州地区交通安全指導者情報交換会(本田技研主催【熊本】)

8月3日(月)～4日(火) 支部職員4名、企画主査1名を派遣

エ 幼児・高齢者交通安全教育指導員講習会(全日交主催【東京】)

11月18日(水)～20日(金) 支部職員1名を派遣

オ 九州各県更新時講習及び停止処分者講習指導員研修会(九州安協主催【熊本】)

11月26日(木) 職員2名を派遣

カ 交通安全指導者養成講座(内閣府主催【東京】)

12月7日(月)～9日(水) 支部職員1名、企画主査1名を派遣

キ 交通安全国民運動中央大会(全日交主催【東京】)

1月14・15日の両日 各部会・表彰式に職員4名を派遣

ク 自動車安全運転センター中央研修所における研修

業務に必要な資格取得あるいは資質向上のため、県自動車学校職員を自動車安全運転センターが主催した研修会に派遣

※ 平成 27 年度中の受講状況

	回数	受講人員	コース期間
新任技能検定員課程(普通二種)	1	1	3日
新任技能検定員課程(普自二)	1	1	6日
新任運転習熟指導員課程(二輪・普通)	1	1	11日
高齢者講習指導員課程(普通)	1	1	2日
高齢者講習指導員課程(普通・二輪)	1	1	3日
認知機能検査員課程	2	2	1日